

閉じる

印刷用ページ

|                                 |             |       |
|---------------------------------|-------------|-------|
| 授業科目名                           | 科目区分        |       |
| Communicative English III E (8) | コミュニケーション科目 |       |
|                                 | 時間割コード      |       |
| 講義題目                            | 041320      |       |
|                                 | 年度          | 時間割   |
| 英語プレゼンテーション演習                   | 2013        | 前期 金5 |
| 担当教員                            | 単位数         | 教室    |
|                                 | 1           |       |
|                                 | 対象年次及び学科    |       |
| 長井 克己[Nagai Katsumi]            | 2～ 全学共通科目   |       |

## 関連授業科目

Communicative English I/II/IV

## 履修推奨科目

## 学習時間

授業90分×15回+授業外学習

## 授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

## 授業の目的

この授業は受講生の英語プレゼンテーション能力の育成に重点を置いています。

## 到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ

（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。

3. 英語で2分程度のスピーチ・プレゼンテーションができる。

## 成績評価の方法と基準

中間と期末の2回、20 unitsの中からテーマを一つ選んで2分間スピーチをする。第1回目の授業で配布する Rubric（棒読みしない、声が大い、聞きとりやすい、結論が明快、の4項目を5段階で20点満点）を30/20倍して30点。2回スピーチをするので60点。その他の活動は40点。合計100点満点のうち、60点以上で単位を認定

## 授業計画並びに授業及び学習の方法

## 【授業の方法】

毎週 2 Units と 2 Slides の中から、スピーチに利用できる表現を抜き出して覚えていく。各 Unit では、Step 2 で語彙と表現の確認をした後、Step 4の model presentations を聞き内容を理解する。次に声を出して読む練習を行う。最後に Step 7 を参考に英語で質問をしたり、それに答えたりする練習を行う。教科書のスピーチは語彙・表現とも高度なので、同レベルのスピーチを目指す必要はない。自分のスピーチに使えるような表現を探す素材集だと考えればよい。

## 【授業計画】

第1回：introduction to the course

第2～6回：two presentations and slides / week

第7回：tutorial 1

第8回 speech 1

第9～13回：two presentations and slides / week

第14回：tutorial 2

第15回：speech 2

## 【授業外学習に関するアドバイス】

各週の語彙・表現を復習し、自分で使えるようになっておく。

2回のプレゼンテーションの準備を行う。

## 教科書・参考書等

Textbook:

Kobayashi and Clankie. (2011).

Your First Speech and Presentation.

Tokyo: Nan-undo. (ISBN 9784523176626)

## オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

## 履修上の注意・担当教員からのメッセージ

欠席回数が4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。